VQC5514

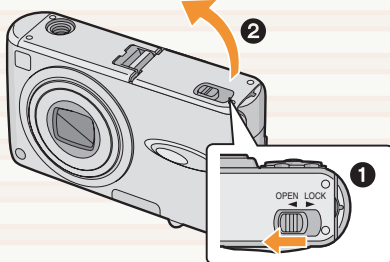
はじめてお使いになる方へ

かんたんガイド

1 バッテリー／カードを入れよう

扉の開閉

電源が[OFF]になっていることをご確認ください

❶ 開閉レバーをスライドさせる
❷ 扉を開く

❶ 扉を閉じる
❷ 開閉レバーをスライドさせる

バッテリーを入れる

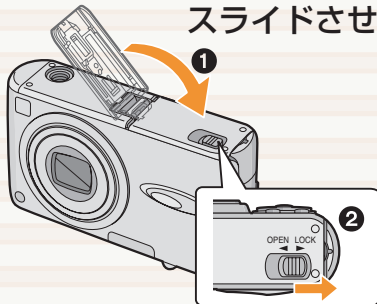
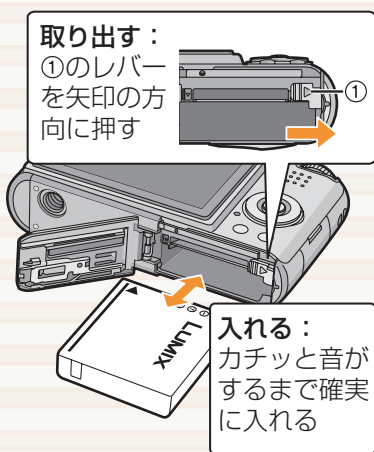
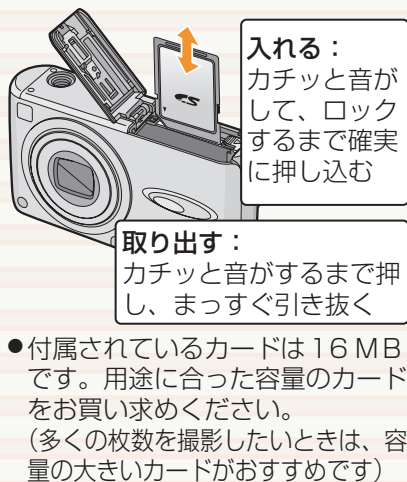
取り出す：
①のレバーを矢印の方向に押す

入れる：
カチッと音がするまで確実に入れる

カードを入れる

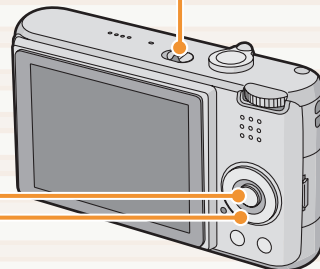
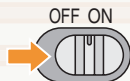
入れる：
カチッと音がして、ロックするまで確実に押し込む

取り出す：
カチッと音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

●付属されているカードは16MBです。用途に合った容量のカードをお買い求めください。
（多くの枚数を撮影したいときは、容量の大きいカードがおすすめです）

2 電源を入れて時計を設定しよう

はじめに時計を設定しておくと、
●日付を入れてプリントするときに困らない！
●パソコンに取り込んだときに日付別に整理できる！

電源を入れる

電源スイッチを[ON]にする

時計を設定してください
時計設定 MENU SET

お願い
●約5秒経過すると画面が消えますので、電源を入れ直してください。
●一度設定すると、この画面は表示されません。
ただしバッテリーを入れずに約3カ月経過すると時計設定が消えるため、再びこの画面が表示されます。

時計を設定する

1 [MENU/SET]ボタンを押して時計設定の画面を表示させる

カーソルボタン

2 ◀▶で項目を選択
▲▼で数字を設定

時計設定
2006 1 1 0:00
年/月/日
選択 ◀▶ 設定 ▲▼ 終了 MENU SET

3 [MENU/SET]ボタンを押して終了

3 撮影しよう

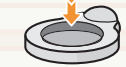
♥ かんたんモードで撮る

初心者におすすめのモードです。

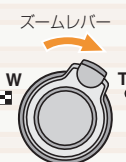
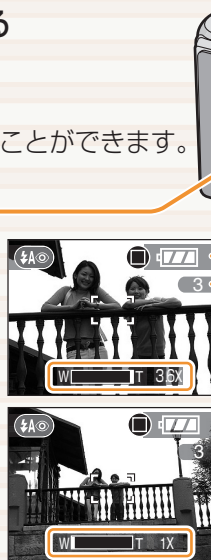
1 モードダイヤルを回して♥に合わせる

2 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

ピントが合うとフォーカス表示（緑）が点灯します。

3 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

ズームを使って大きく撮る

光学ズームで最大3.6倍まで大きく撮ることができます。

1 ズームレバーをT側に回して大きくする

2 ズームレバーをW側に回して広くする

4 撮った画像を見よう

撮った画像を見る

1 モードダイヤルを回して♥から▶に合わせる

2 ◀で前の画像を選択
▶で次の画像を選択

不要な画像を削除する

元に戻すことはできませんので、お気をつけください

1 🗑（削除）ボタンを押す

2 ▲で「はい」を選択

3 [MENU/SET]ボタンで決定

逆光を補正して撮る

逆光時に、人物など被写体が暗く写るのを補正します。

▲で（逆光補正オン表示）を表示させる
もう一度押すと解除されます。

逆光補正機能使用時はフラッシュを使用することをおすすめします。（フラッシュを使用するときは、強制発光[⚡]になります）

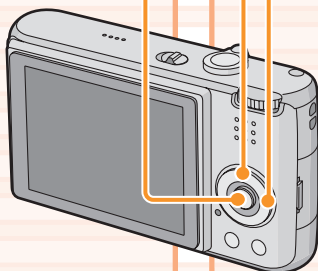
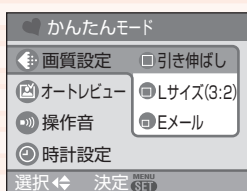
♥かんたんモードのメニュー設定

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼で項目を選び、▶を押す

3 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンで決定

4 [MENU/SET] ボタンを押して終了（メニュー画面を終了します）

用途に合わせて設定できるから はじめてでもかんたん

画質設定

- 引き伸ばし： A3やA4などの大きめのサイズにプリントしたい
- Lサイズ(3:2)： Lサイズ（89 mm×127 mm）にプリントしたい
- Eメール： Eメールに添付したり、ホームページ用に使いたい

オートレビュー

- OFF: 撮影後に撮影画像が自動的に表示されません
- ON: 撮影後に撮影画像が約1秒間表示されます

操作音

静かな場所では[OFF]に

- OFF: 操作音なし
- 小: 操作音小
- 大: 操作音大

時計設定

日付や時刻を変更するときに設定します。

上記の手順**2**で選ぶと、時計設定の画面になります

◀▶で項目を選択
▲▼で数字を設定

[MENU/SET]ボタンを数回押して終了

フラッシュを使って撮る

暗い場所で撮影するときは、フラッシュが便利です。

(⚡)でフラッシュを設定する

逆光補正オフのとき

赤目軽減オート
撮影する場所の明るさに応じて、自動的にフラッシュが発光します。
瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえます。

暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています

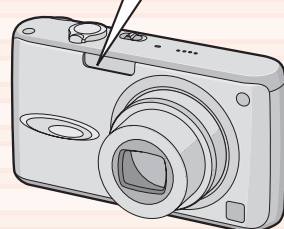
お願い
赤目軽減モードに設定すると、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。２回目の発光が終わるまで動かないようにしてください。

発光禁止
どのような撮影状況でもフラッシュは発光しません。

逆光補正オンのとき

強制発光
フラッシュを強制的に発光させます。

発光禁止
どのような撮影状況でもフラッシュは発光しません。

フラッシュ撮影が禁止の場所ではこの設定に

フラッシュ発光部
指などでふさがないようにしてください

撮った画像をプリントして残す

以下の方法で、撮影した画像に日付を入れてプリントすることができます。

プリンターだけで

詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

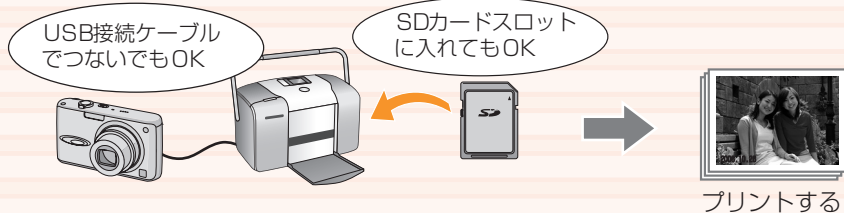
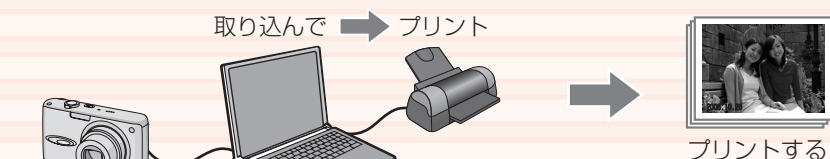
USB接続ケーブルでつないでもOK

SDカードスロットに入れてもOK

プリントする

パソコンとプリンターで

取り込んで ➡ プリント

プリントする

CD−ROMに付属のソフト「LUMIX（ルミックス） Simple Viewer（シンプルビューワー）」を使うと、かんたんにパソコンに取り込んでプリントできます。詳しくは、パソコン接続編の取扱説明書をお読みください。

パソコンを使うと他にもいろいろ楽しめる！

CD−Rに保存する

Eメールに添付する

パソコンの説明書もお読みください

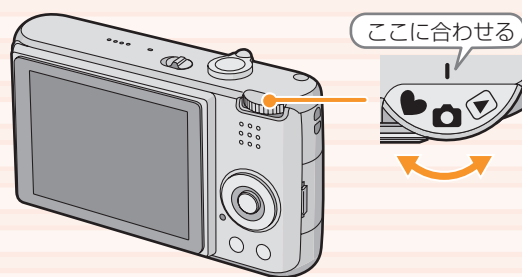
お店で

日付入りでお願いします

プリントする

いろいろ選べるモードダイヤル

かんたんモード以外の撮影モードを選ぶと、メニューやフラッシュの設定も様々になります。

ここに合わせる

モードダイヤルを回して希望のモードに合わせる

再生モード
撮影した画像を再生します

マクロモード
被写体に近づいて撮りたいときに

通常撮影モード
かんたんモードで撮影に慣れてきたらこのモードに

SCN シーンモード
人物や風景など撮影シーンに合わせて撮りたいときに
詳しくは、取扱説明書をお読みください

かんたんモード
初心者におすすめのモードです

動画撮影モード
音声付き動画を撮りたいときに